

ディスカッション

ディスカッションテーマ

- ① あらためて家庭と連携する際のポイント
- ② なかなか協力してくれない家庭にどう協力してもらえばよいか
- ③ 家庭でのトラブルについて、どこまで学校で対応すればよいか
- ④ 「生成AI」について、学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑤ 災害時などで誤情報やフェイクニュースが問題となるが、
学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑥ 「端末を用いた児童による盗撮のニュース」を見たが、
学校・家庭でどう話をすればよいか

ディスカッションテーマ

- ① あらためて家庭と連携する際のポイント
- ② なかなか協力してくれない家庭にどう協力してもらえばよいか
- ③ 家庭でのトラブルについて、どこまで学校で対応すればよいか
- ④ 「生成AI」について、学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑤ 災害時などで誤情報やフェイクニュースが問題となるが、
学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑥ 「端末を用いた児童による盗撮のニュース」を見たが、
学校・家庭でどう話をすればよいか

ディスカッションテーマ

- ① あらためて家庭と連携する際のポイント
- ② なかなか協力してくれない家庭にどう協力してもらえばよいか
- ③ 家庭でのトラブルについて、どこまで学校で対応すればよいか
- ④ 「生成AI」について、学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑤ 災害時などで誤情報やフェイクニュースが問題となるが、
学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑥ 「端末を用いた児童による盗撮のニュース」を見たが、
学校・家庭でどう話をすればよいか

ディスカッションテーマ

- ① あらためて家庭と連携する際のポイント
- ② なかなか協力してくれない家庭にどう協力してもらえばよいか
- ③ 家庭でのトラブルについて、どこまで学校で対応すればよいか
- ④ 「生成AI」について、学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑤ 災害時などで誤情報やフェイクニュースが問題となるが、
学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑥ 「端末を用いた児童による盗撮のニュース」を見たが、
学校・家庭でどう話をすればよいか

ディスカッションテーマ

- ① あらためて家庭と連携する際のポイント
- ② なかなか協力してくれない家庭にどう協力してもらえばよいか
- ③ 家庭でのトラブルについて、どこまで学校で対応すればよいか
- ④ 「生成AI」について、学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑤ 災害時などで誤情報やフェイクニュースが問題となるが、
学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑥ 「端末を用いた児童による盗撮のニュース」を見たが、
学校・家庭でどう話をすればよいか

例えば, 研究室では・・・

- 文章の要約, 推敲, 論点の整理
- 小学生向けの言い回しに変更
- 「小学6年生ならどう答えるか」 → 発問, 対応の工夫
- 統計分析の手法の確認
- 「この情報発信には, どのようなリスクがあるか」
- 英会話の練習 (院生)

今後, **校務での活用・授業の実践**など事例が増えてくるはず

考えられるリスクの例

(学校教育での) 問題点の整理

- ① 情報の**不正確さ**, **著作権の侵害**などの内容に関する問題
- ② **個人情報**, プライバシーの入力などによる情報漏洩の問題
- ③ 「**考えず**」に**すぐに聞いてしまう**という学び方の問題
- ④ **ずっと話しかけてしまう**という**使いすぎ**の問題

これまでのネットとのつきあい方でも**ある程度同じ**かも…

ガイドライン「チェックリスト」の活用

【参考1】各学校で生成AIを利用する際のチェックリスト

□ 生成AIツールの利用規約を遵守しているか（年齢制限・保護者同意を遵守しているか）

- ChatGPT（OpenAI社）は13歳以上、18歳未満の場合は保護者同意が必要
- Bing Chat（Microsoft社）は成年であること、未成年の場合は保護者同意が必要
- Bard（Google社）は18歳以上であることが必要

□ 事前に、生成AIの性質やメリット・デメリット、情報の真偽を確かめるような使い方等に関する学習を実施しているか

□ 教育活動の目的を達成する上で効果的か否かで利用の適否を判断しているか

□ 個人情報やプライバシーに関する情報、機密情報を入力しないよう、十分な指導を行っているか

□ 著作権の侵害につながるような使い方をしないよう、十分な指導を行っているか

□ 生成AIに全てを委ねるのではなく最後は自己の判断や考えが必要であることについて、十分な指導を行っているか

□ AIを利用した成果物については、AIを利用した旨やAIからの引用をしている旨を明示するよう、十分な指導を行っているか

□ 読書感想文などを長期休業中の課題として課す場合には、AIによる生成物を自己の成果物として応募・提出することは不適切又は不正な行為であること、自分のためにならないことなどを十分に指導しているか。保護者に対しても、生成AIの不適切な使用が行われないよう、周知・理解を得ているか

□ 保護者の経済的負担に十分に配慮して生成AIツールを選択しているか

生成AIにだけ

対応できればよいのか？

今後、どちらの力がより重要か？

① ルールが整備されてから、

そのルールを守るための力

② ルールが整備される前から、

どのようなリスクがあるかを考えて、

上手につきあう力

ディスカッションテーマ

- ① あらためて家庭と連携する際のポイント
- ② なかなか協力してくれない家庭にどう協力してもらえばよいか
- ③ 家庭でのトラブルについて、どこまで学校で対応すればよいか
- ④ 「生成AI」について、学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑤ 災害時などで誤情報やフェイクニュースが問題となるが、
学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑥ 「端末を用いた児童による盗撮のニュース」を見たが、
学校・家庭でどう話をすればよいか

情報をどう見極めるか

情報は、「だいふく」で見極めよう

だ

れが言ってるの？



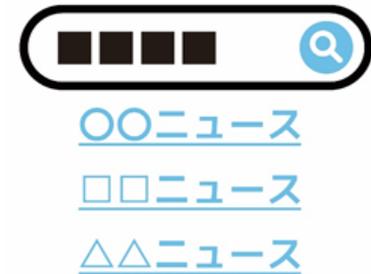
い

つ言ったの？



ふく

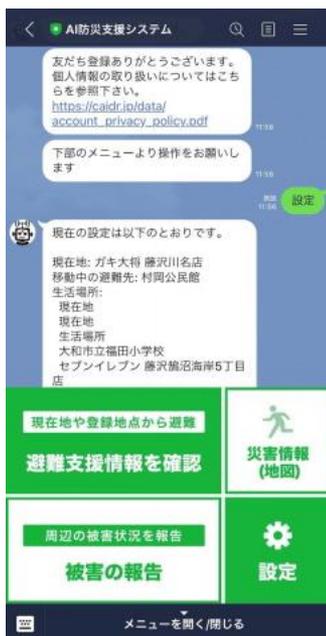
すうの情報確かめた？



情報の信頼性を確かめよう
情報防災訓練

「情報防災訓練」の開発背景

学校や地域での「防災訓練」だけでよいのか？



※1 情報投稿例



※2 投稿情報がマッピングされた地図



LINE 公式アカウントのメニュー「災害情報(地図)」より、住民も閲覧可能

AI防災協議会「AI防災支援システム」

災害時におけるSNS利用の重要性が高まっており、
従来の防災訓練に加えて、「情報」の防災訓練が必要

情報をどう見極めるか

情報は、「だいふく」で見極めよう

だ

れが言ってるの？



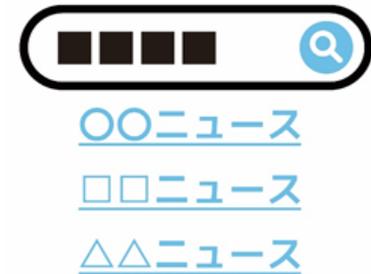
い

つ言ったの？

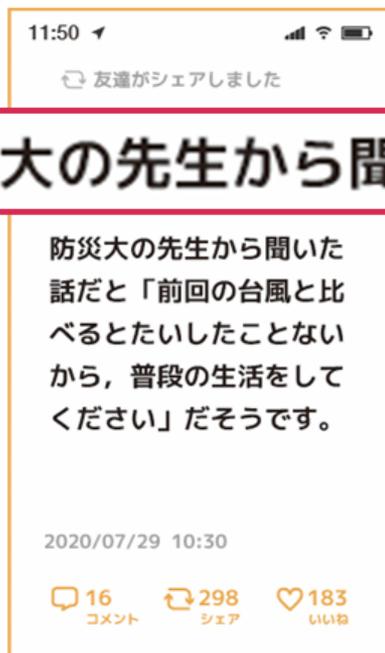
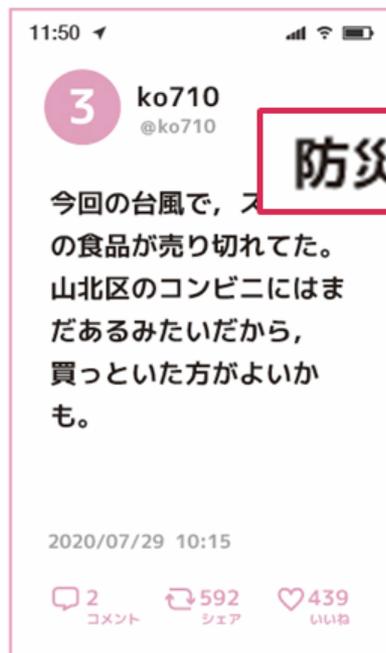


ふく

すうの情報確かめた？



「だいふく」で見極めてみよう



防災大の先生から聞いた

だ

れが言ってるの？

い

つ言ったの？

ふく

すうの情報を確かめた？

誰からの情報なのかな？ もし情報が間違っていたら？

ディスカッションテーマ

- ① あらためて家庭と連携する際のポイント
- ② なかなか協力してくれない家庭にどう協力してもらえばよいか
- ③ 家庭でのトラブルについて、どこまで学校で対応すればよいか
- ④ 「生成AI」について、学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑤ 災害時などで誤情報やフェイクニュースが問題となるが、
学校・家庭でどう話をすればよいか
- ⑥ 「端末を用いた児童による盗撮のニュース」を見たが、
学校・家庭でどう話をすればよいか

写真を撮る／情報モラル（GIGAワークブック）



かって
勝手に
よいのかな

つぎ
次のイラストで、たんまつのつかかたきについて気になるところに○をつけましょう。

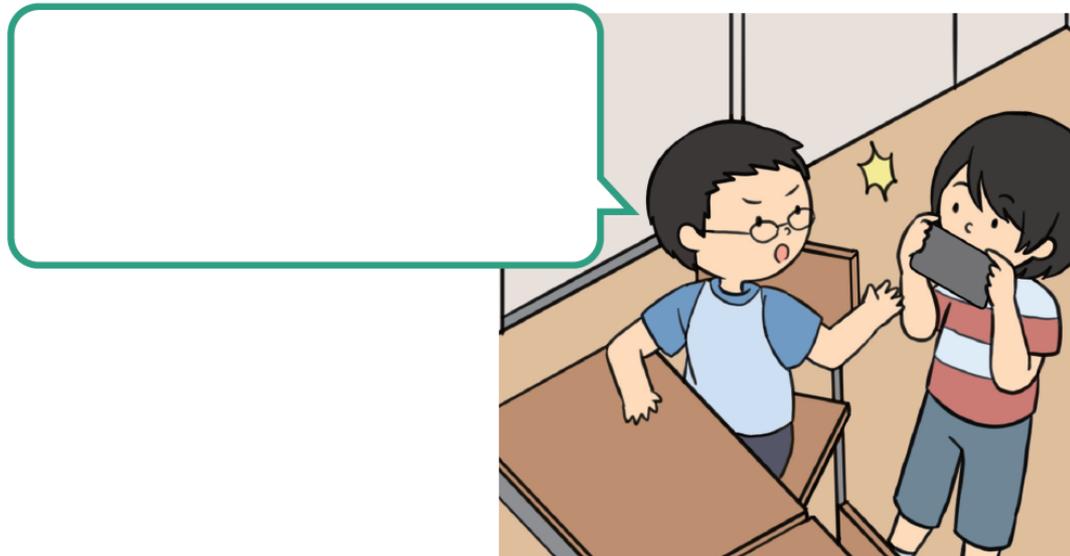


写真を撮る／トラブル対応（GIGAワークブック）



かって シャリン
勝手に写真を撮られたら

とも
友だちが、ふざけてあなたの写真を勝手にとってきました。
あなたは、とてもイヤな気持ちになりました。
こんなとき、相手にどのようにつたえるとよいでしょうか？



組織的・体系的に実施するために・・・

情報モラル教育ポータルサイト

学習指導要領では「情報活用能力」を「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、その育成を図るために「各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図る」となっています。この情報活用能力の重要な要素である情報モラルは「情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度」であり、具体的には、情報発信による他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつことや、犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること、コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解することなど様々な事柄を含んでいます。将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現にも適切に対応できるようにすることが重要です。



新着情報

2023.07【8月24日（木）15:30開催】第1回情報モラル教育指導者セミナーは [こちら](#) よりお申込みください

2023.04 情報モラル教育ポータルサイトを公開しました

学習コンテンツ・啓発資料

授業実践・活用事例

情報モラル教育関連サイト

タブレットを
初めて使う

インターネット
を活用する

情報を発信する

オンラインで
交流する

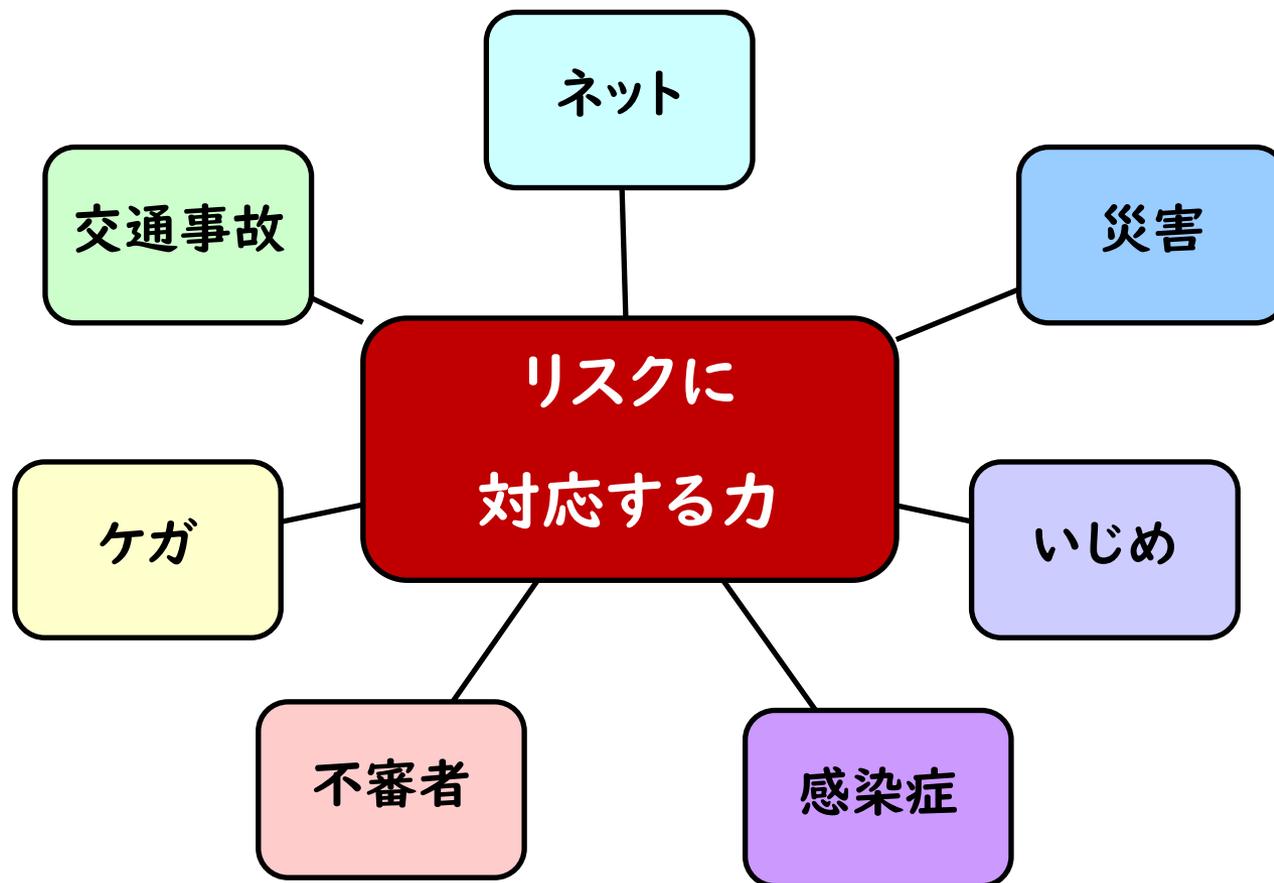
作品を作る

マナーを
守って使う

SNSなどを使う

文部科学省

家庭と連携して「リスクに対応する力」をどう育てるか



これまで個別に指導してきた事柄をまとめて指導できる



SHIZUOKA UNIVERSITY

